

平成30年度 甲南学園 事業計画書

【基本方針】

高度情報技術が日進月歩で進化し産業活動のなかに定着し、日常生活にも深く浸透するなか、地球環境問題は深刻化し、偏った人口動態問題が顕在化し、世界の政治・経済は“混沌の時代”を迎えている。わが国がこうした状況にどう対応・適応していくか国としての真価が問われている。それだけに教育へむけられる期待も、そして教育に負託される課題も極めて大きい。

100年にわたり人物教育の率先を謳って多彩な才幹を輩出してきた甲南学園は、この時代・社会からよせられる期待に応え、負託された課題を担うべく、大学にあつてはミディアムサイズの総合大学のメリットを最大限活かし、少人数教育の実践、共通教育（高大接続、導入教育、人物教育、社会接続）のさらなる充実をはかり、融合型グローバル教育、地域連携をなお一層推進することで教育の質の高度化をめざしている。新装なった KONAN INFINITY COMMONS（iCommons）はこの質の高度化に拍車をかけることになる。また研究活動においても直接・間接交々に教育に質の高いインパクトを与える成果が生まれつつある。高等学校・中学校にあつては徳・体・知の高いバランスを育ててきた伝統ある中堅私学としてフロントランナー・アドバンストの2コース制、両コースにわたる実践的グローバル教育、世界で活躍中のOBによる意欲喚起スイッチ・オンのレクチャーなどにより、甲南ならではの高いレベルの成果を目標に邁進している。

これらをうけ100周年までの最終年度となる平成30年度は、大局にたつて優先順位をつけた予算編成により、大学・高等学校・中学校が掲げる教育目標の達成に向け、最大限の成果が得られるよう努める。平成30年度は、甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育の展開を主軸とする創立100周年記念事業を、これまで以上に力強く推進する年度とする。

これらの点を踏まえ、以下のとおりに予算を編成し、学園・大学・高等学校・中学校における事業を計画する。

1. 財政健全化のためのガイドライン

- (1) 事業活動収入に占める事業活動支出の割合は、98.8%とする。
- (2) KONAN プレミア・プロジェクトは、少人数・特色ある教育を展開するための基盤整備にかかる支出を含めて250百万円程度とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (3) 法科大学院・先端生命工学研究所に係る事業（いわゆる戦略プロジェクト）は、事業活動収入の4.9%以下とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (4) 資産運用収入（受取利息・配当金収入）は、理事長及び学長並びに校長より提案を受けた「21世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」及び「国際的に卓越した研究推進」等に重点配分する。
- (5) 事業活動収入にしめる経常的な事業活動支出の割合は92.6%とする。
- (6) 創立100周年記念事業・行事期間に係る支出は、募金活動の活性化とも連携し、新規行事も含め意義ある行事を予算化する。
- (7) 人件費及び委託業務費はその金額及び必要性・実効性を精査・査定し、その効力を高めることに努める。

2. 基本金

- (1) 基本金組入額は、100周年記念事業に係る投資分を除いて教育・研究充実のための施設・機器の更新・購入及び図書購入等、事業活動収入の8.0%程度とする。

- (2) 100周年記念事業は、予算編成時点で具体化されているものを計上することとし、新たな事業については、必要度など熟慮・検討していく。
- (3) 奨学助成基金に5,000万円を積み立てるとともに、平成31年度以降の第3号基本金組入額を検討する。

【平成30年度の主な取組】

I. 甲南学園創立100周年記念事業の企画及び推進 ※昨年度までに完成・終了したものを含む
 学園創立100周年（平成31年、2019年）を記念し、Respectable KONAN of the World（“世界で通用する甲南”）を掲げ、以下の記念事業を企画し推進する。

- 甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育を目指して
 圧倒的少人数 甲南 Active-Interactive 教育の実施、個性を力へ創生(成)する(individualization) 共通教育改革の推進、融合型グローバル教育の推進、高等学校・中学校“世界に通用する紳士たれ” グローバル ハイレベル教育の実現等
- 甲南学園創立100周年記念事業募金（目標額20億円）
- KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 建設
- 甲南大学白川台キャンパス セミナー・スポーツ施設拡充（愛称「コスモスプレース」）事業
- 甲南高等学校・中学校100周年記念 教育環境整備事業
- 100周年記念“わがくるま 星につなぐ” 甲南の星奨学金給付制度
- 学園創立100周年記念出版・展示企画
 学園100年史編集・刊行、平生鈞三郎日記翻刻完成(全18巻)、Respectable KONAN of the World と題し、輝かしき学園史を飾る資料の展示、学園史資料展示室のリニューアル
- その他 学園創立100周年記念式典・記念行事等

II. 甲南大学の教育改革

人物教育率先の理念をより高いレベルで実践し、世界に通じる研究力を教育や地域連携に積極的に生かし、新たな時代においても持続的に発展できる大学となるために、以下3つの「甲南新世紀ビジョン」実現を目指す。

- ① 圧倒的な教育力により、人物教育のクオリティ・リーダーと呼ばれる大学になる
- ② 世界に通じる特色ある研究力が教育に浸み出し、地域と連携して発展していることが社会に評価される大学になる
- ③ 融合力を発揮し、様々な環境変化に対応できる力、持続的に発展できる力を備えた大学になる

1. 教学新機軸の推進

「甲南新世紀ビジョン」の実現に向け、重要な施策として位置付けた以下5つの教学新機軸を平成29年度に引き続いて推進し、本学の教育の一層の魅力化、特色化および教育の質の向上を図る。

- (1) “顔がわかる”少人数教育の推進
- (2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進
- (3) 共通教育改革の推進
- (4) 融合型グローバル教育推進
- (5) 地域連携・ボランティア教育の推進

2. Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

既存のキャンパス、体育施設などの各施設に加え、新たに整備したグローバルゾーン、サイエン

ス・ラーニングコモンズ、白川台キャンパス、iCommons を人物教育の拠点として、キャンパス全体の有機的な連携・魅力化を図り、相互啓発・融合・創発が起こる Active-Interactive キャンパスのさらなる充実化を進める。

特に Active-Interactive キャンパスの中核施設と言える iCommons（平成 29 年 9 月竣工）においては、施設・設備を最大限に活用し、学生による様々な活動を全面的に力強く支援するほか、学内や地域に向けた多様なイベントを継続的に実施して、人物教育のシンボルとしての取組を積極的に推進する。

さらに理工学部においてはサイエンス・ラーニングコモンズのエリアおよび機能を拡大し、学習相談室とも連動させ、3 学科による融合サイエンス・リベラルアーツ教育の拠点として活用するほか、文学部においては 10 号館のより有効な活用を進めていく。

3. 教育改革の基盤整備 ー内部質保証システムを構築・運用ー

大学教育の質保証をより確かなものにしていくために、見直しを行った「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP) および「入学者受入れの方針」(AP) の 3 つのポリシーに基づく持続的な教学マネジメントの確立をはじめ、第 3 期認証評価における新しい大学基準に対応した内部質保証システムを構築し、運用を開始する。特に平成 30 年度においては、DP・CP に基づく体系的な教育課程編成を継続的に実践するとともに、順次整備を進めてきた学修ポートフォリオやジェネリックスキル測定の活用、IR レポートの充実化と活用、教学アドバイザー・ボードによる外部評価体制の整備等を実施。加えて各部局の自立的な PDCA サイクルの運用体制を整備し、本学における内部質保証体制を確立する。

4. KONAN プレミア・プロジェクト

全学および各学部の特徴ある方針・計画を実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出するための以下 9 つのテーマのもと、様々なプロジェクトを展開する。

- (1) KONAN つながるプロジェクト
- (2) KONAN スーパー人材育成プロジェクト
- (3) KONAN グローバル・バリアフリープロジェクト
- (4) KONAN スポーツ元気プロジェクト
- (5) KONAN スチューデント・サポートプロジェクト
- (6) KONAN スマート・ラーニングプロジェクト
- (7) KONAN “なりたい自分” キャリアデザイン支援プロジェクト
- (8) KONAN Research & Education プロジェクト
- (9) KONAN 大学教育基盤整備プロジェクト

Ⅲ. 戦略事業の展開

平成 16 年度より戦略事業として展開している以下の事業を引き続き推進する。

■ 法科大学院の第 3 期プロジェクト 5 年目の展開

社会人に開かれた質の高い少人数教育を実施し、「昼夜開講」「秋入学」「西宮教室」に対応した学習指導体制を確立して、甲南学園の伝統を引き継ぐビジネスに強い「甲南ローヤー」育成に努める。

また、法科大学院全国統一適性試験が廃止されることを見据えた新しい入試制度を導入し、定員を満たす入学者の確保を図る。さらには社会人が学びやすい、ICT を活用した西宮教室を充実させるほか、他大学とも連携して弁護士等へのリカレント教育を促進する。

■ 先端生命工学研究所（FIBER）の第2期プロジェクト5年目の研究推進

「FIBER 第Ⅱ期計画」に基づく研究、および文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（平成26年度から5年間）、「新学術領域研究」（平成29年から5年間）に採択された研究を推進し、分子混雑状態の中での核酸の機能の動態を解明し、先制核酸医工学や創薬等に応用・活用できる成果を生むことを目指す。

また、著名研究者を招聘する学園創立100周年記念国際シンポジウムの開催、日本学術振興会「二国間共同研究」（平成30年から2年間）に採択されたスロベニア国立NMRセンターとの共同研究のほか、核酸研究の国際的センターとして国内外の研究機関や大学と密に連携し、「神戸医療産業都市」をはじめとする地域連携、教育への還元や社会貢献活動などを進め、研究活動の促進につなげる。

【事業の概要】

IV. 大学・大学院関係

1. 教育

(1) “顔がわかる”少人数教育の推進〔教学新機軸（1）〕

大規模授業の少人数化などの授業規模最適化の推進。「学修ポートフォリオ」の活用促進。「KONANサーティフィケート」制度の充実。

(2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進〔教学新機軸（2）〕

教育の質的向上をはかるため、KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) の活用によるアクティブ・ラーニングを推進。ラーニング・コモンズの更なる充実・整備。グループワークにおけるファシリテーションやライティング・サポートの充実、学習支援に関わる学生アシスタントの育成等の支援体制整備によりアクティブ・ラーニングを特色化。

(3) 共通教育改革の推進〔教学新機軸（3）〕

高校と大学の学びをスムーズに接続する「導入共通教育科目」の整備、幅広く基礎教養を学ぶ体系への移行等を目的とした「基礎共通科目」の再編等の共通教育改革を実践。社会との接続を目的とした「キャリア創生共通科目」における地域連携関係科目の充実を図る。

(4) 融合型グローバル教育推進〔教学新機軸（4）〕

どの学部に入學しても専門科目を学修しながら外国語や国際社会に関する理解などを身につけることのできる「融合型グローバル教育」を推進。グローバル人材の素養である①チャレンジ精神、②多文化理解力、③タフネス、④主体的行動力、⑤英語によるコミュニケーション能力を涵養。留学希望学生の語学力伸長を目的とした「英語集中コース」の拡充。「KONANグローバル・サーティフィケート」を浸透・定着化。地域・行政・高校等とも連携したグローバルゾーン“Porte”の更なる充実・発展を図る。

(5) 地域連携・ボランティア教育の推進〔教学新機軸（5）〕

地域連携・ボランティアの拠点として整備された「地域連携センター」を中心に、学生による地域連携やボランティアの諸活動を正課・課外の教育のなかに明確に位置付けて展開。「KONANボランティア・サーティフィケート」の浸透・定着を図る。

(6) 教員養成体制のさらなる充実

教員免許法改定にともなう教職課程再課程認定申請の実施と再編後の教職課程の適切な運営に向けた準備の推進。「教育職員養成課程カリキュラム委員会」の機能活性化。

(7) 公認心理師養成カリキュラムの開始と文学部人間科学科の定員変更

公認心理師法の成立・施行に伴い、公認心理師に関する科目を新設し、公認心理師養成に関

する教育・研究を推進。カリキュラムの円滑な運営、公認心理師を志望する本学学生及び卒業生の支援等を目的として、公認心理師養成センターを開設。また、公認心理師養成への対応も踏まえ、平成 31 年度より文学部人間科学科の編入学定員を解消し、入学定員を増加する手続等を推進。

(8) FD 活動等による教育力強化と学修支援体制の充実

教員間の授業参観、意見交換等の実施等によるアクティブ・ラーニングの推進。FD 活動の推進に向けた IR レポートシステムの構築。上級生が下級生の学習を多面的にサポートする TIL (Teaching is Learning) 制度の一層の充実。

(9) 内部質保証の体制確立と実践

2020 年度に実施される第 3 期認証評価に向け、内部質保証規程を整備し、本学における内部質保証体制を確立。学修ポートフォリオ、ジェネリックスキル測定、IR レポート等の活用や外部評価体制の整備等を組み込み、内部質保証の PDCA サイクルの実践的な運用を図る。

(10) 各種補助金制度への対応強化

私立大学等改革総合支援事業への対応強化。本学の事業内容や計画・方針に適合する項目の確実・適切な申請・獲得。

2. 研究

(1) 学内の各種研究助成による研究支援

「平生太郎基金」「伊藤忠兵衛基金」「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究・出版・外国人研究者招聘等への助成。

(2) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

平成 26 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「核酸の非標準構造を標的とした細胞応答の化学的制御技術の構築と先制核酸医工学への展開」(先端生命工学研究所 期間：平成 26 年度から 5 年間)の研究推進。

(3) 研究支援の強化、コンプライアンスへの対応

- ・ 各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制の強化、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組の推進。
- ・ 大型公的研究資金の獲得を目指した学内研究グループに対する研究費補助と独創的・先進的な研究の促進。本学の研究力向上および研究ブランディングの推進。
- ・ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に対応した体制の整備、コンプライアンス教育、研究倫理教育の推進。

(4) 研究力の可視化

甲南大学の研究・産官学連携活動の実績を学内外に公開。広く社会に向けた本学研究力のアピールとブランディングを目的とした WEB ページの更新。

3. 学生支援活動

(1) 学生生活の支援

人物教育の一環として学生マナーアップの推進、学生の健康保持・増進、学生生活の改善・充実、課外活動の活性化(KONAN スポーツ応援プロジェクトの推進を含む)に向けた支援、外国人留学生の支援。

(2) 障がい学生の支援

「障がい学生支援方針」に基づき、「You ステーション」を中心とした障がい学生の支援を

充実。学生ボランティアスタッフの育成。

(3) **キャリア形成・就職支援**

個々の学生の状況に応じたサポートと質の高い進路支援。多様化する就職試験への対策強化。増加傾向にある公務員志望者への支援充実、地方自治体との連携による UIJ ターンへの対応強化。

(4) **甲南アスリートサポートプログラム (KASP) の実施**

体育会に所属する学生に向けた修学・キャリア等の各種支援の体系化と、実効性あるサポートプログラムの提供。

(5) **新しい奨学金制度の検討**

平成 31 年の制度運用開始を見据えた、100 周年記念“わがくるま 星につなぐ”甲南の星奨学金給付制度の検討。

(6) **保護者との関係強化**

「教育懇談会」の改善・充実、キャリアセンター・各学部での説明会・講演会、個別学修相談等の実施。

4. 社会連携・社会貢献活動

(1) **瀬戸内・関西湾岸ネットワークの構築推進**

兵庫県・神戸市のほか、瀬戸内・関西湾岸地域の各自治体と結んだ協定活用等による連携活動の充実・発展。中四国地域等への連携先拡大を見据え、新たな協定締結に向けた活動を実施。

(2) **地域連携の推進**

自治体のほか、企業や各種団体との連携強化。学生の地域活動を積極的に推進・支援。

(3) **大学間連携の強化**

文部科学省「平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業 (タイプ 5)」の採択を踏まえ、「大学コンソーシアムひょうご神戸」の主要メンバーとしての大学間連携活動を一層強化。

(4) **産官学連携の推進**

本学の知的資産の有効活用に向けた産業界・官公庁・協定機関との連携強化。研究力の可視化による学内外への研究成果の発信。

(5) **小学校・中学校・高等学校の児童・生徒等に向けた取組**

「甲南大学キッズフェスティバル」「ひらめき☆ときめきサイエンス (独立行政法人日本学術振興会)」「科学とあそび! 2018」「FIBER 未来博士アカデミー」のほか、子育て支援等の各種事業を実施。

(6) **教員免許更新制における免許状更新講習の支援**

免許状更新講習の実施。教育委員会や現場教員との連携による免許状更新講習の支援。

(7) **生涯学習支援**

公開講座、社会人講座、各種シンポジウム、ワークショップ等の積極的な開催。

5. 高大接続・学生募集・入学試験に係る活動

(1) **アドミッションセンターの設置**

アドミッションポリシーに則した学生の募集・選抜および高大接続を担い、これらを一体的・効果的に実行するための新しい組織「アドミッションセンター」を設置。

(2) **入試制度改革の推進**

高大接続改革を踏まえ、新しく設置するアドミッションセンターにおいて、2021 年度に向け

た入試制度改革の検討を推進。2018年6月を目途に、新しい入試制度の骨子を公表。

(3) 学生募集活動の強化

各種データの活用による戦略的な広報展開。iCommons の活用などによるオープンキャンパス等各種イベントの一層の魅力化。大学案内と受験生向け情報サイト『甲南 Ch.』の充実化と活用。『KONAN DATA BOOK』『KONAN DIGEST』等による特色や魅力の発信力強化。

(4) 高大接続の強化

国の推進する高大接続一体改革の動向を踏まえた特色ある高大接続改革の推進。高校生と大学生が融合して行う「リサーチフェスタ」等、研究発表等の高大接続プログラムの開発・実施。高大接続推進委員による高校訪問活動等の充実・発展。

(5) 指定校、協定校、系列校との連携強化

協定校・指定校等の重点校との関係強化に向けたコミュニケーション充実。甲南高校生対象「KONAN DAY」「甲南高等学校－甲南大学 引継式」の継続実施と深化。

6. 環境整備

(1) 全学共通教育系事務室の集約と体制整備

公認心理師養成センター、及び全学部にかかる教育（言語・スポーツ・共通教育・教職課程等）を担う事務室を集約し、実効性のある体制に整備。教務部等関連部局とそれらとの連携強化による学生サービスの向上。

(2) 教育環境・情報インフラの整備

アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ、学習支援デスク等の主体的学習に対応できる教育環境の拡大に向けた整備。

(3) 阪神淡路大震災以降に更新された施設・設備の再整備

5号館1階の改修、5号館及び9号館空調設備の更新、照明LED化等。

V. 高等学校・中学校

1. 教育 ー平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現ー

- ・ フロントランナー生を対象とした「サイエンスラボ」「グローバルラボ」の実施。
- ・ 高校一年生アドバンスト生を対象に「志厚き有為の材幹」の育成に資する「キャリアデザイン」を配置し、OB企業訪問や有識者による講演会を実施。
- ・ 各界の第一線で活躍する著名人を招聘した講演会「ソフィア」による人物教育の実施。
- ・ 中学3年生を対象に社会で活躍されている卒業生を招聘した「OBワークショップ」の実施
- ・ 「KONAN DAY」「甲南高等学校－甲南大学 引継式」「特色プログラム」等による甲南大学との高大接続の強化。
- ・ 環境学習の実施による、甲南小学校・甲南女子中高等学校・甲南大学との連携強化。

2. 学習活動・学校生活支援活動（進路支援活動含む）

ー学習環境の整備、学力向上、徳育の強化ー

- ・ e-learningによる学習支援システム「まなBOX」「レナンディ」に加え、教育支援システム「classi」による学習サポート・進路指導等を強化。
- ・ ネイティブ教員が中心となってプログラムする「English Day」や「English Camp」の実施
- ・ 新高校一年生・高校二年生のフロントランナー生を対象とした「学習合宿」の実施。
- ・ デジタル教科書を利用し、授業のICT化を図るとともにアクティブ・ラーニングを推進する。

3. グローバル・スタディ・プログラム ー国際コミュニケーション力の向上ー

- ・ 「グローバル・スタディ・プログラム」の一環として、高校二年生を対象に国際人育成に向け

た海外留学の実施。

- ・ 高校フロントランナー生を対象とした、フロリダ工科大学・NASAでの研修実施
- ・ 「グローバル・ファウンデーション」の一環として、高校一年生・中学3年生を対象に甲南大学白川台キャンパスでの「スプリングセミナー」及び希望者によるオーストラリア語学研修を実施。
- ・ 東南アジアの代表的工業国であるタイへのスタディツアーを実施

4. 環境整備

- ・ 安心安全のための施設・設備の整備。
- ・ 省エネルギー対策としてLED化の実施。

5. 生徒募集・入学試験に係る活動

- ・ 甲南教育の魅力を校内外に伝える様々な取組。

VI. 法人

1. 管理運営

(1) 学園の資金計画等の策定

学園創立100周年記念事業および学園新世紀を見据えた中長期的な資金計画策定と管理体制の確立。現行学費体系の教育・財務両面からの点検・評価。

(2) 学園創立100周年記念事業募金活動

学園創立100周年記念事業募金活動のさらなる推進。

(3) 教育振興のための各種寄付金の受入れ強化

高等学校・中学校「教育振興募金」の活性化。

(4) リスク管理、労務・法務管理体制の強化

契約審査、法務相談、学内規程の整備体制の強化。特定個人情報を含めた個人情報保護体制の定着と強化。大規模災害発生時の連絡・安否確認体制の整備。

(5) 安定的な職員組織の構築、適正な人件費配分、快適な職場環境の維持・強化

職員採用の中期計画の策定と実行。職員の職能開発と全体最適の視点に基づく配置による人件費配分の適正化。ワーク・ライフ・バランスの実現と快適な職場環境の維持・強化を目指す。

(6) 情報システムの整備

快適・安全な教育環境の整備に向けた、情報端末の設置・更新及び管理システムの再構築。教員用メールシステムのクラウド化、災害発生時を想定したバックアップポリシーの策定。

2. 広報活動・卒業生との連携

(1) 学園創立100周年記念事業の広報

各種記念事業の積極的な広報活動による学内外の祝賀ムードの醸成。

(2) 広報活動の充実・ブランド強化

学生・生徒・保護者・同窓会・地域等との連携による「オール甲南」体制の構築、定期刊行物、WEB広報ツールの充実化。

(3) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

兵庫県立芸術文化センター、ヴィッセル神戸、堺ブレイザーズ、西宮ストークスをはじめとする地域性の高い諸団体への支援。

(4) 卒業生との連携強化

入学宣誓式への卒業生招待、同窓会との各種行事の共同開催、各地甲南会等との関係強化。

以上